



2019年5月14日

各 位

会社名 新田ゼラチン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 尾形 浩一  
(コード番号：4977 東証第一部)  
問合せ先 取締役執行役員 長岡 令文  
管理本部長  
電話番号 072(949)5381

営業外収益及び特別損益の計上、通期連結業績予想値と実績値との差異  
並びに個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

2019年3月期において営業外収益及び特別損益を計上するとともに、2019年2月8日に公表いたしました、2019年3月期通期の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。

また2019年3月期の個別業績と前期実績値との間に差異が生じたので、併せてお知らせします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の計上【個別】

当社は、2019年3月期において、為替差益 239 百万円を営業外収益に計上いたしました。

これは主として当社が保有する外貨建資産負債を当期末時点における為替相場で評価替えをしたことにより発生したものであります。

2. 特別利益（補助金収入）の計上【個別・連結】

当社は、2019年3月期において、補助金収入 147 百万円（個別・連結）を特別利益に計上いたしました。

これは省エネルギー投資促進に向けた支援補助金の交付により発生したものであります。

3. 特別損失（固定資産圧縮損）の計上【個別・連結】

当社は、2019年3月期において、固定資産圧縮損 147 百万円（個別・連結）を特別損失に計上いたしました。

これは2.の補助金収入を固定資産の取得価額から直接減額したことにより発生したものです。

4. 特別損失（関係会社株式評価損）の計上【個別】

当社は、2019年3月期において、関係会社株式評価損 299 百万円を特別損失に計上いたしました。

これは連結子会社であるニッターケージングズ Inc. の株式について実質価額が著しく下落したことにより発生したものであります。

なお、当該損失につきましては、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

5. 特別損失（減損損失）の計上【連結】

当社は、2019年3月期において、減損損失634百万円を特別損失に計上いたしました。

これは、連結子会社であるニッタゼラチンインディア Ltd. が保有する固定資産について、収益性が低下したことに伴い減損の兆候が認められたことから将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額したことによるものです。

6. 2019年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 36,500	百万円 700	百万円 600	百万円 1,000	円銭 54.43
当期実績（B）	36,464	898	828	989	53.85
増減額（B－A）	△35	198	228	△10	
増減率（％）	△0.1	28.3	38.1	△1.1	
（ご参考）前期実績 （2018年3月期）	37,777	1,094	978	△599	△32.61

差異の理由

売上高は、前回予想と同水準となりました。国内販売における価格改定の浸透及び国内外においてコストダウンに努めたことより営業利益、経常利益は、前回予想を上回りました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、5. 特別損失（減損損失）の内容に記載のとおり、減損損失を計上したことに伴い前回予想を下回りました。

7. 2019年3月期通期個別業績の前年実績値との差異（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績（A）	百万円 23,210	百万円 863	百万円 1,039	百万円 △1,256	円銭 △68.37
当期実績（B）	22,311	316	997	1,005	54.72
増減額（B－A）	△898	△547	△41	2,261	
増減率（％）	△3.9	△63.4	△4.0	－	

差異の理由

接着剤事業において顧客の需給変化に伴う衛生材料用等の販売が減少し、売上高が前回実績を下回りました。また1. 営業外収益（為替差益）の内容に記載のとおり、為替差益の発生はあったものの、魚ゼラチンの原料価格の高止まりにより、営業利益、経常利益はいずれも前期実績を下回りました。

一方で、当期純利益は、特別利益（主に事業分離における移転利益）を計上したことにより前期実績を上回りました。

以上